

入退室から保護者連絡までを一元化 PAVLOVが「FLENS School Manager」の導入 教室運営の新しい基盤

LINE・電話・紙に分散
していた連絡を、一つの
仕組みに集約

導入前は、保護者との連絡や出欠管理をどのように行っていましたか？

森山 主にLINEや電話、生徒を介した連絡ですね。請求書もLINEで送っていましたし、かなり手作業で対応していました。全体にお知らせをするときも、文章をコピーして各アカウントに送るような形でした。もう一つ大きかったのが、教室ごとに連絡が分かれていたことです。それぞれの先生が各教室のLINEアカウ

ントで保護者とやり取りしていたので、管理する側からすると「何を連絡しているのかわからない」という状態でした。別教室のやり取りを見るには、その教室まで行って端末にアクセスしないと確認できなかったんです。



森山翔太氏

た。「保護者の登録が100%になってから入退室を始めよう」と思っていたんです。でもFLENSさんから「入退室の文化をつくってしまえばいい」とアドバイスをもらい、60〜70%くらいの段階で始めてみました。すると「みんながピットとやっているもの」として生徒からも広がり、そこからは比較的スムーズでした。

平良 電話の件数は減りましたね。「夏期講習でうちの子は何講座でしたっけ？」みたいな細かい連絡もアプリから来るようになっており、ちよつとしたコミュニケーションをサラッとできるのはメリットだと思います。

「一斉連絡でも効果はありましたか？」

森山 そこで、教室をまたいで情報を確認できる仕組みが必要になった？

森山 そうですね。ただ、導入のきっかけとして特に大きかったのは入退室管理です。出欠のログも手動で残していました。

導入はスムーズでしたか？

森山 最初は少し苦労しました。当時、LINEでつながっていた保護者が7、8割くらいで、それ以外は電話などでした。

入退室が定着すると問い合わせが激減。一斉連絡は約5分に

平良 ちょうど昨日、沖縄に台風が接近しているために、今日の授業を臨時休校にしたんです。以前だったら、家庭には電話やLINEで連絡していた、30分とか、場合によっては1時間くらいかかることもありました。それが昨日は5分くらいで終わりましたね。お知らせを作つてすぐ配信できまし、まだ導入していただいていないなどの理由で連絡できないなどご家庭も一覽でわかります。その場合だけ電話な



仲松慎弥代表



平良海音氏

ど別の方法で連絡すればいいので、すごく便利です。

面談の調整にも変化はありましたか？

森山 面談予約もかなり大きく変わりました。美容室の予約画面みたいな感覚で管理できるので、だいふ楽です。以前は直前の変更を教室長が把握しきれず、ダブルブッキングのようなエラーもありました。また、面談予約から個別の連絡まで、一つのアプリの中で必要なことがかなりできるようになり、担当する人がまとめて確認できるのも大きいです。

連絡履歴を「見える化」。教室が増えても管理しやすい基盤へ

一方、導入時には各教室から

反対意見もあったそうですね。

森山 ありました。アプリ利用料として月謝に500円を上乗せする方針にしたんですが、「500円払ってLINEと同じようなものを導入するのか」という反応は、保護者よりも社内の教室長のほうが大きかったです。今まで個別のやり方でうまくいっていたという自負もあったと思います。だから、「このツールが必要なんです」と言うだけではなかなか納得してもらえなかったですね。

それでも実際に使うことで、「LINEだけではいいけど、メッセージがある」ということは徐々にわかってもらえてきたと思います。

予想外だったのが入退室です。私は最初、入退室の文化をそこまで重視していなかったんですが、思った以上に生徒の受けがよかった。タッチ式のものを導入していない塾さんだったら、すごく生徒が活気づくので、ぜひおすすめしたいです。みんな「ピット」で鳴るやつが好きなんですよ(笑)。



PAVLOV新都心教室は中高一貫校専門塾として評判を得ている

教室が増えても、保護者との距離を保てる運営への

PAVLOV自体も、ここ数年で事業の形が変わっています。

仲松 創業から13年ほどになります。最初は自分たちで一から教室をつくっていましたが、最近は個人塾の事業承継という形でM&Aを進めることが増えています。一方で、医学部専門塾をつくり、その下に中高一貫専門塾をつくりました。中高一貫の生徒がそのまま医学部専門へ進むような垂直展開が見え始めています。

今後、FLENS School Managerをどう活用していきたいですか。

森山 まだ導入していない教室があります。M&Aをして間もない教室は、運営方針の違いもあります。端末やネット回線など環境面の問題もあります。ただ、できるだけ早く導入教室は増やしたいと思っています。

また、学校ごとに特徴が違うので、中学生の段階から、昭和薬科に通っている生徒ならどういう指導が必要か、沖縄尚学に通っている生徒なら何が必要かというように分析し、細分化して指導しています。

教室が増えるほど、情報共有の重要性も高まりそうですね。

森山 そうですね。以前は、別の先生に「この保護者に連絡しておいて」とお願いしても、本当に連絡したかどうかがブラックボックスになりがちでした。今は担当の先生にお願いした連絡も含めて全体で確認できるので、私の立場からすると、そこはだいふ助かっています。

今後、FLENS School Managerをどう活用していきたいですか。

森山 まだ導入していない教室があります。M&Aをして間もない教室は、運営方針の違いもあります。端末やネット回線など環境面の問題もあります。ただ、できるだけ早く導入教室は増やしたいと思っています。



小中学生は「ピット」と鳴る入退室システムがお気に入りだという